

無菌性髄膜炎で入院された方へ：入院療養計画書

平成 年 月 日 お名前(御署名)： 様 主治医() 担当看護師()

項目	入院当日	入院翌日～	退院当日	退院後の注意点
診察		主治医の診察は、毎日あります 		
与薬点滴	水分、栄養補給のための持続点滴をします 発熱、嘔気、頭痛、腰痛の程度により対症的に薬剤を使っていきます 6ヶ月未満のお子様は、ヘルペスが否定できるまで抗ウイルス剤の点滴をします 	食事がとれるようになり症状が改善すれば点滴を中止します	症状が改善すれば退院可能となります	
検査	血液検査、髄液検査 * 髄液検査後1時間は、頭を上げず水平に横になり安静にして下さい また、その間は何も飲んだり食べたりしないでください 	* 入院時の髄液検査で、検査値が4桁以上あったお子様には退院前にもう一度、髄液検査を行い改善されていれば退院可能となります 		
食事	年齢に合わせた食事ができます(アレルギーがある場合には禁食に気を付けます) 制限はありませんので、食べれるものを無理せず食べてください 			退院後は食事の制限はありません
安静	発熱や頭痛、嘔気があるときはできるだけ安静にしましょう 	点滴が中止になっても、安静に過ごしましょう 		
清潔	熱などで汗をかいた後は、着替えのお手伝いをします 点滴中は看護師が体を拭くお手伝いをします 	点滴が中止になれば、シャワー浴ができます 		退院後は入浴可能となります 
説明指導	主治医より検査結果と今後の治療について説明があります 分からないことがあれば何でもご相談ください * 『おたふく風邪』からの髄膜炎の場合は、主治医の許可があるまでは部屋から出ることは出来ません  		退院の説明と退院後の日常生活について説明をします  	日常生活には制限はありませんがしばらくは安静に過ごすようにしましょう 発熱、頭痛、嘔気などの症状が出現すれば必ず受診するようにしましょう

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくに従って変りうるものである
注2 入院期間については、現時点で予想されるものである